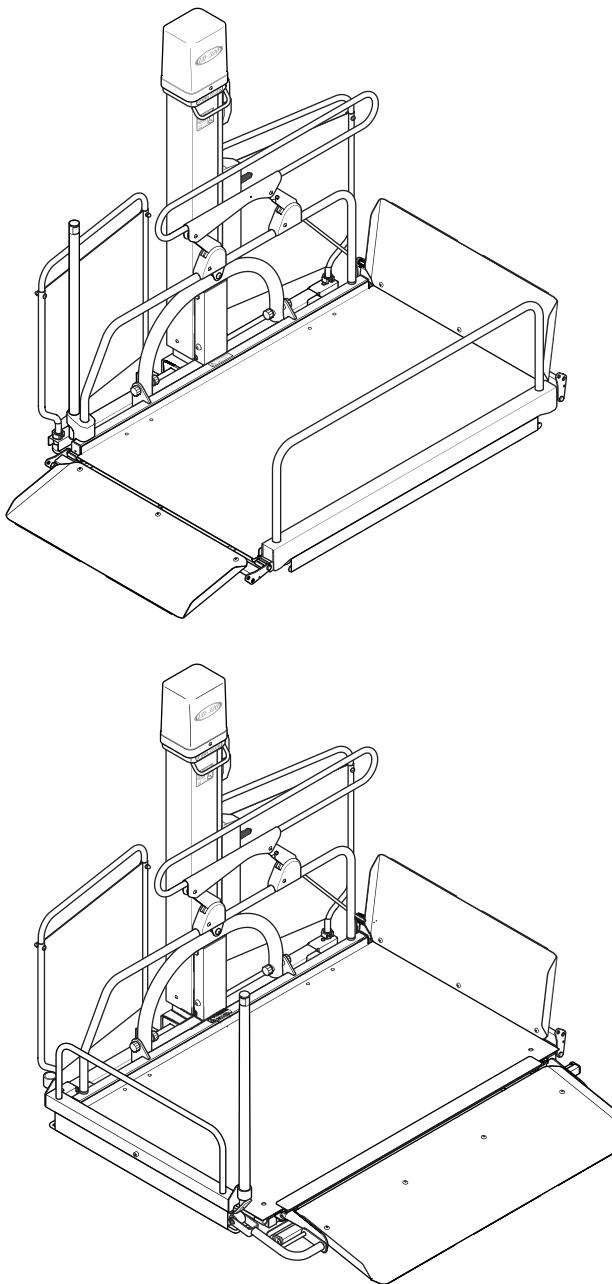


車椅子用電動昇降機

型番 UD-320

取扱説明書

目次



まえがき	2
表示記号のご説明	3
車椅子用電動昇降機UD-320	
(直進乗り込みタイプ)について	4
使用目的	4
特長	4
各部の名称	5
車椅子用電動昇降機UD-320	
(L字乗り込みタイプ)について	6
使用目的	6
特長	6
各部の名称	7
ご使用になる前に	8
安全上の注意事項	8
使用できる車椅子寸法	10
電源部接続	11
使用前点検	13
定期点検	14
使用方法	15
電源の入れ方	15
リモコンスイッチの操作方法	16
レバーの操作方法	17
上昇するとき(直進乗り込みタイプ)	18
下降するとき(直進乗り込みタイプ)	19
上昇するとき(L字乗り込みタイプ)	20
下降するとき(L字乗り込みタイプ)	22
非常降下スイッチの操作方法	23
日常のお手入れ	24
お手入れ方法	24
消耗品の交換時期	24
消耗品の名称	25
トラブルシューティング	26
ご使用期間とアフターサービスについて	27
ご使用期間について	27
修理を依頼されるときは	27
仕様(直進乗り込みタイプ)	28
仕様(L字乗り込みタイプ)	29

保証書

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、この取扱説明書には、保証書が付いております。

取扱説明書の内容、および保証書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

まえがき

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的なメンテナンスが必要です。

この取扱説明書をよくお読みになり、充分理解されてからご使用ください。

本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に對して、弊社はその責任を負いません。

また、この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、本製品を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に示されていない使用方法は、絶対に行わないでください。

不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先または弊社各営業所までお問い合わせください。

表示記号のご説明

本製品およびこの取扱説明書には、ご使用者および他の人への危害や損害を未然に防ぐため、安全上の注意を次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味を充分理解し、安全上の注意を必ずお守りください。

●表示の意味

- △ 警告…誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。
- △ 注意…誤った取り扱いをすると、人がケガを負う可能性および本製品の故障につながる可能性が予想される内容を示しています。
- 注意…本製品の故障を防ぐための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスなどの内容を示しています。

●記号の意味

- ⓧ 禁止することを示しています。
- △ 注意することを示しています。
- ❶ 要請することを示しています。

車椅子用電動昇降機 UD-320（直進乗り込みタイプ）について

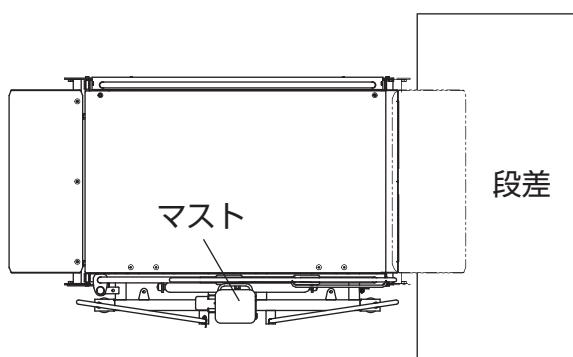
使用目的

縁側等の段差を解消させ、車椅子利用者の方々の外出を手軽に行うために用いる電動昇降機です。

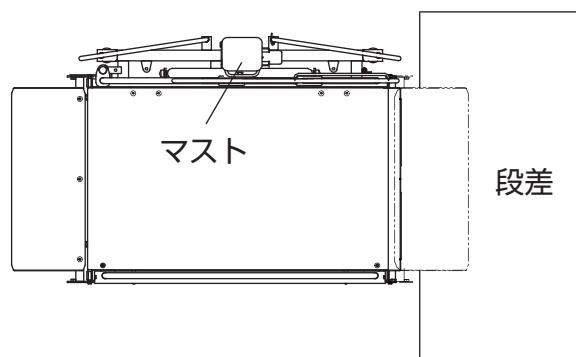
特 長

- ・ 最高位では、設定により自動的に停止します。
- ・ スロープは、上昇時には自動的に上がり、下降時には自動的に下がります。
- ・ 平坦でしっかりとした場所なら、設置のための基礎工事などは必要ありません。
- ・ お一人で組立・分解が短時間で簡単にできます。
- ・ 組み立て方により、マストの位置が異なる左仕様、右仕様に組み立てられます。

左仕様



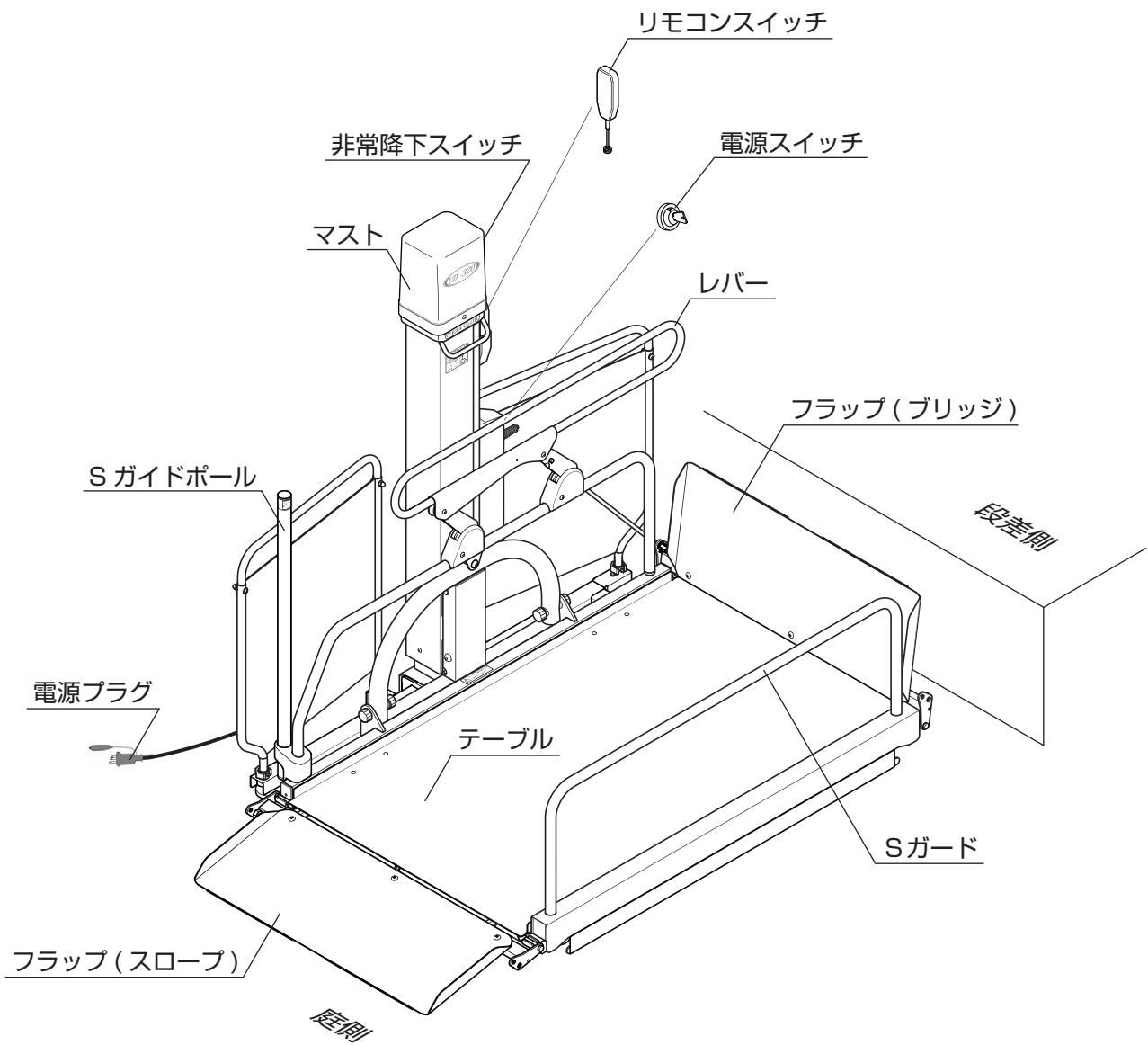
右仕様



車椅子用電動昇降機 UD-320（直進乗り込みタイプ）について

各部の名称

本図は右仕様



車椅子用電動昇降機 UD-320 (L字乗り込みタイプ) について

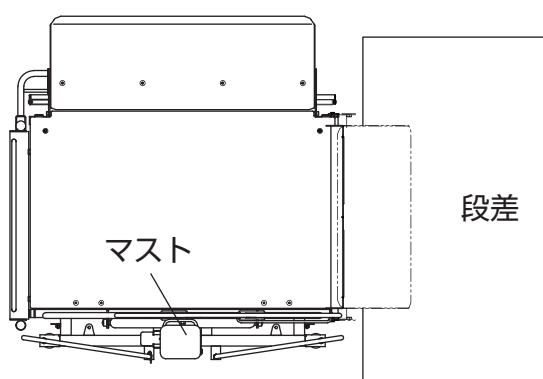
使用目的

縁側などの段差を解消させ、車椅子利用者の方々の外出を手軽に行うために用いる電動昇降機です。

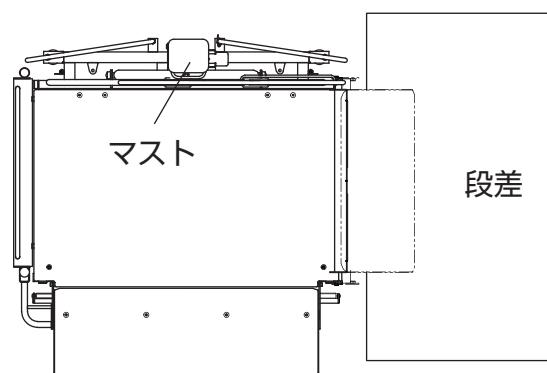
特長

- ・建物の構造に合わせて、L字乗り込みができます。
- ・最高位では、設定により自動的に停止します。
- ・Lスロープは、上昇時には自動的に上がり、下降時には自動的に下がります。
- ・平坦でしっかりとした場所なら、設置のための基礎工事などは必要ありません。
- ・お一人で組立・分解が短時間で簡単にできます。
- ・組み立て方により、マストとLスロープの位置が異なる左仕様、右仕様に組み立てられます。

左仕様



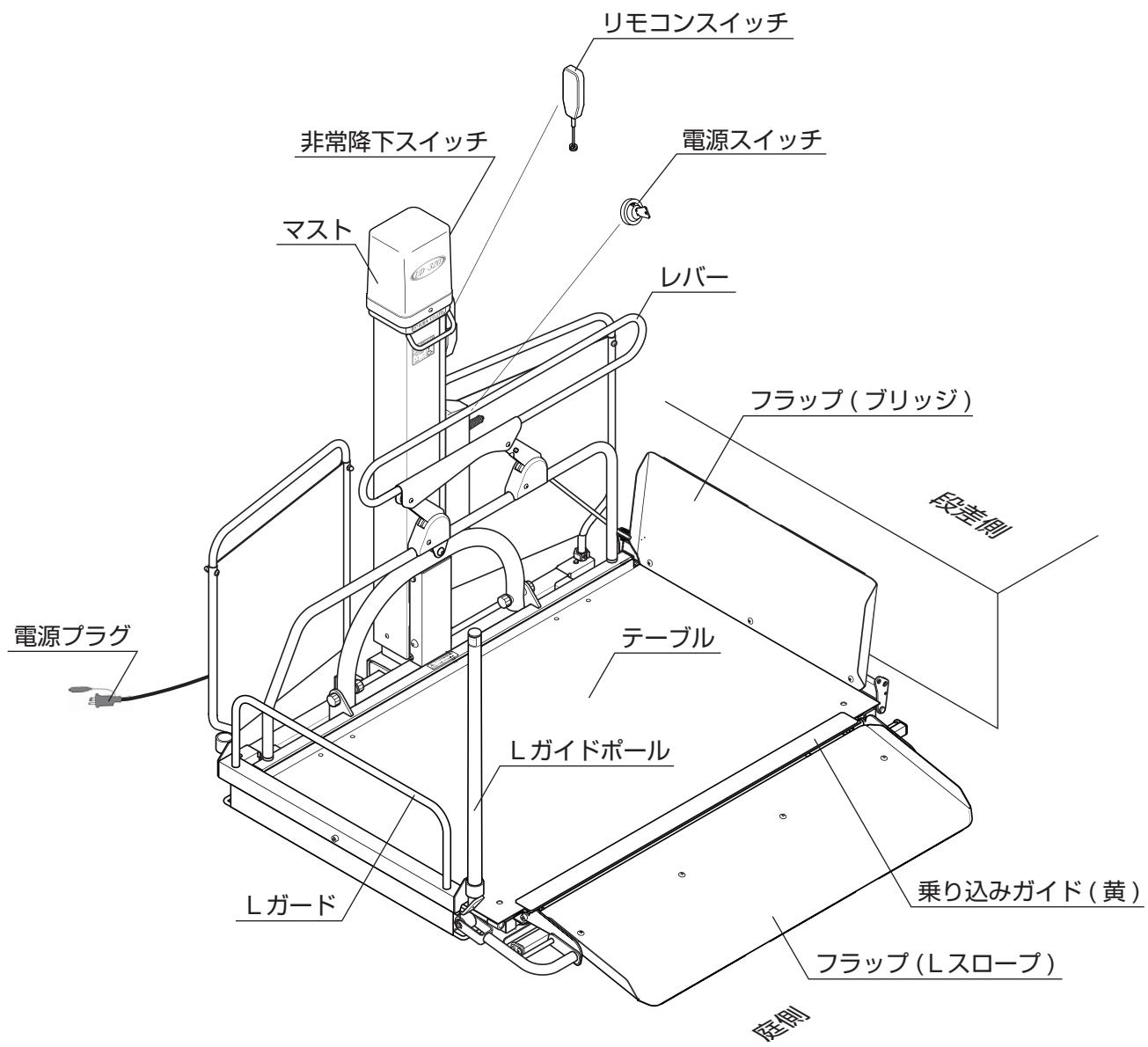
右仕様



車椅子用電動昇降機 UD-320 (L字乗り込みタイプ) について

各部の名称

本図は右仕様



ご使用になる前に

安全上の注意事項

下記および本製品に示された安全上の注意事項を必ずお守りください。
これら安全上の注意事項以外であっても、無理な使用はしないでください。

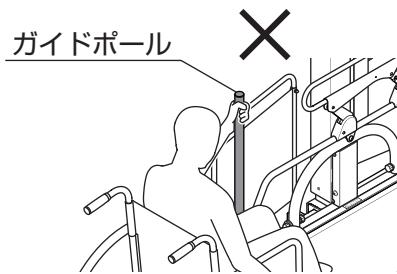
●安全上の注意

⚠ 警告

	本体に貼り付けてあるシールの内容は安全上、および本製品を正しくご使用いただくために、非常に重要ですので必ずお守りください。
	本製品の改造は、思わぬ事故につながる恐れがあります。改造の必要な場合にはご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
	本製品の設置は、組立説明書および本書に基づいて行ってください。 設置場所が悪く本体が不安定なとき、ブリッジが段差に充分かかっていないときは、 ご使用にならないでください。
	取扱説明書の内容を理解して、必要に応じて介助の方が付き添い、安全を確認したうえでご使用ください。
	650mmを超える段差には、ご使用にならないでください。
	最低位の調整は行わないでください。故障の原因となります。
	テーブルの下に物などを置かないでください。また、お子様が入り込まないように気をつけてください。
	テーブルの上で跳んだり、はねたりしないでください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
	万一の感電事故を防ぐため、接地コンセントまたはアースターミナル付コンセントでご使用ください。接地コンセントまたはアースターミナル付コンセントがない場合はアース工事を行ってください。また、使用するコンセントは、必ず漏電ブレーカーを経由したコンセントとしてください。
	電源コードを延長する場合は必ずオプションの延長コードをご使用ください。市販のテーブルタップなどでは防水が確保できず、感電事故につながる可能性があります。
	本製品を使用されるときは、周囲の安全を確認してから操作してください。
	昇降時には、ご利用者の身体（特に足先や手）がテーブルから出ないようにしてください。また、常にご利用者や車椅子の状態に注意し、昇降動作による挟み込みや干渉が起こらないようにしてください。

ご使用になる前に

	ご利用者は昇降中、スロープを持たないようにしてください。
	昇降時には、スロープ・ブリッジに車椅子や身体が接触しないようにしてください。
	本体へ乗り込むとき、降りるときも常にご利用者の身体（特に足先や手）に注意し、ぶつけたり、挟み込んだりしないようにしてください。
	本体への乗り込みや本体から降りるとき、 Sガイドポール（直進乗り込みタイプ）、 Lガイドポール（L字乗り込みタイプ）を 持って力をかけないでください。思わぬ 事故や本製品の破損の原因となります。
	本製品に同梱される電源コードは専用品です。他の機器での使用は絶対に行わないで ください。



△ 注意

	コード類を傷つけないようにしてください。コードの上に重いものを置かないでく ださい。コードを差し込むとき、または抜くときはプラグを持って行ってください。
	車椅子を完全にテーブルに乗せ、車椅子のブレーキをかけてから操作してください。

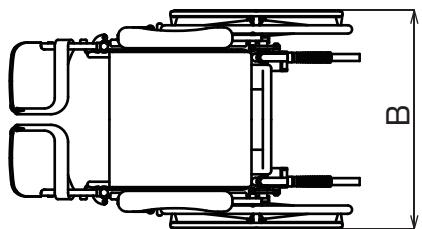
注意

	リモコンスイッチを乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。
---	-----------------------------------

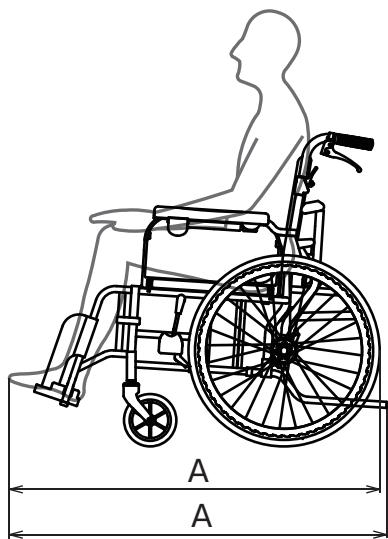
ご使用になる前に

使用できる車椅子寸法

本製品で使用できる車椅子の寸法は次の通りです。



A : ご利用者のつま先から後車輪後端
または転倒防止後端の長い方
B : 車椅子の全幅

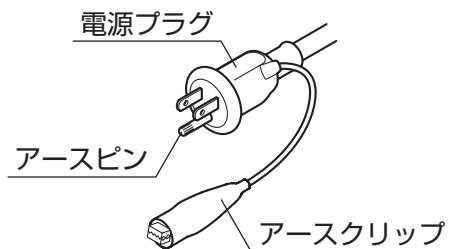


A	B
1130mm以下	680mm以下

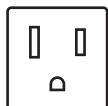
ご使用になる前に

電源部接続

接地コンセント、アースターミナル付コンセントのどちらでもご使用になれる電源プラグです。



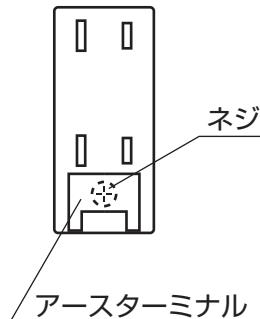
● 接地コンセントに差し込むとき



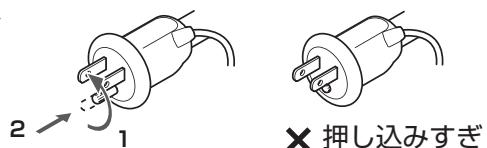
電源プラグを差し込みます。

● アースターミナル付コンセントに差し込むとき

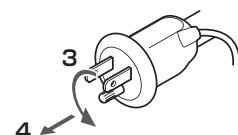
アースピンが飛び出している状態ではアースターミナル付コンセントに差し込めないため、アースピンのロックを解除します。



①指でアースピンを左に回し、
半分まで押し込みます。



②さらに左に回しきり、ゆっくり
引き出しながら指を離します。

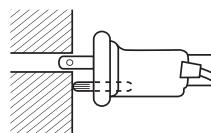


③アースピンが引っ込み、止まった
状態が保持できていればロック
を解除できています。



④ロックを解除したら電源プラグをコンセントに差し込み、アースターミナルのネジをアースクリップで挟みます。

アースターミナル付コンセントに差し込むとアースピンは電源プラグに収納されます。



注意

	アースターミナルのネジをアースクリップで確実に挟めない場合はネジを少しゆるめて挟むか、銅線などをアースターミナルに接続し、その先をアースクリップで挟むようにしてください。
	電源プラグをアースターミナル付コンセントから抜くと、自動的にアースピンが戻ります。
	押し込みすぎたり左に回しきれていないと、自動的にアースピンが飛び出しロック状態になります。

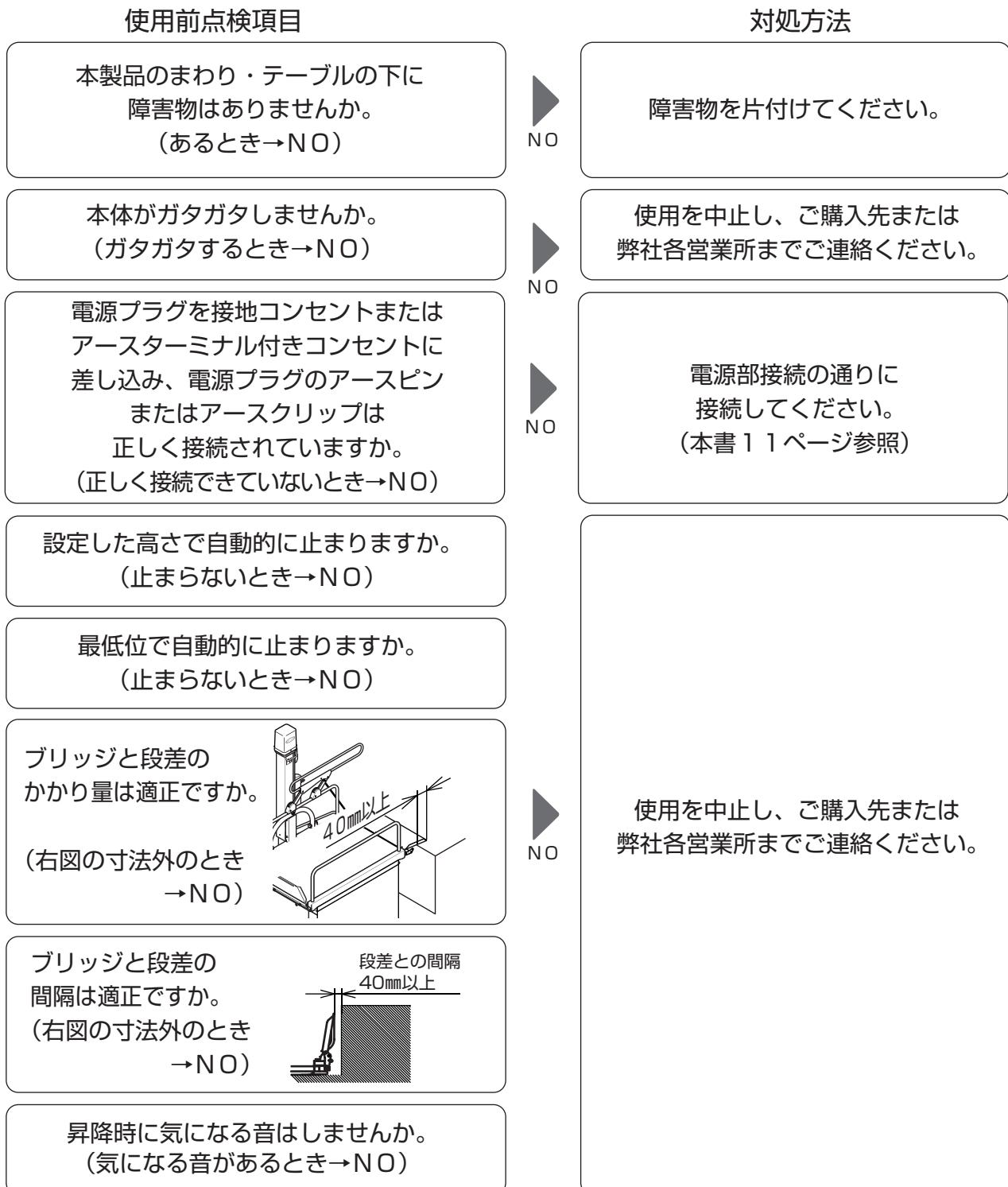
⚠ 警告

	指示以外の方法で接地コンセント、アースターミナル付コンセントに差し込まないでください。
---	---

ご使用になる前に

使用前点検

ご使用前に、毎回必ず使用前点検をし、項目をすべてクリアした場合に限りご使用ください。ひとつでもクリアできない項目があった場合は使用を中止し、対処方法に従ってください。



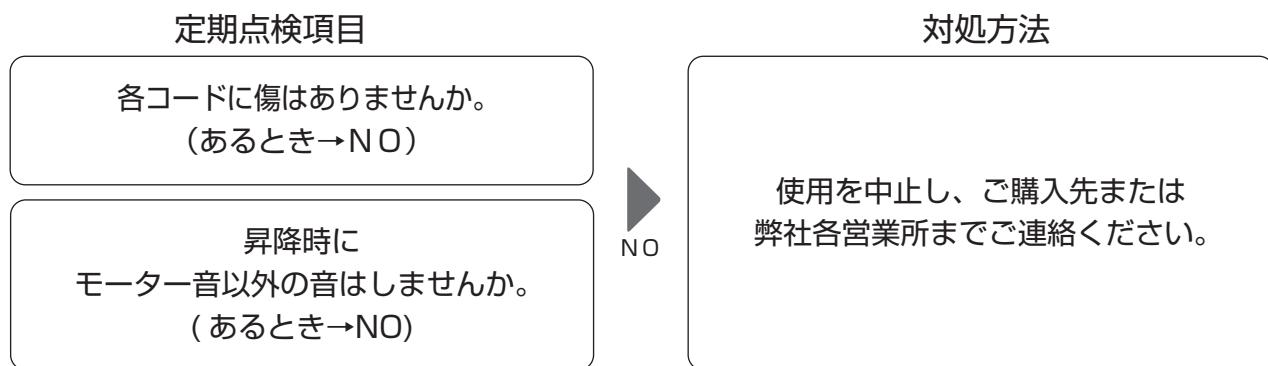
△ 注意

!	使用前点検項目以外でも、おかしいなとか、今までと違うような気がした場合は、絶対に使用せず、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。お客様の判断で取扱説明書に示されていない内容の対処はしないでください。
----------	---

ご使用になる前に

定期点検

本製品を正しく安全にご使用いただくために以下の点検を1年に1度点検されることをお勧めいたします。



⚠ 注意

!	定期点検項目以外でも、おかしいなとか、今までと違うような気がした場合は、絶対に使用せず、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。お客様の判断で取扱説明書に示されていない内容の対処はしないでください。
----------	--

使用方法

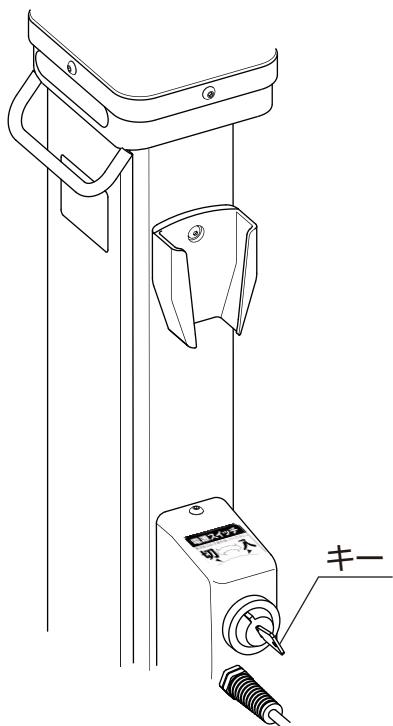
⚠ 注意



本製品の耐荷重は150kgです。車椅子などを含めて150kgを超える場合は、ご使用にならないでください。また、本製品は一人用に設計していますので150kg以内であっても二人以上での使用はしないでください。

電源の入れ方

電源スイッチにキーを差し込み、右に回すと電源が入り、左に回すと切れます。



⚠ 注意



お子様のいたずらや誤作動を防止するため、使用時以外は電源スイッチからキーを抜いてください。



キーは確実に差し込んだ状態で回してください。また、確実に『切』の位置にしてから抜いてください。無理な操作は破損の原因となります。



冬場など、鍵穴が凍結してキーを差込めない場合や、キーを回すことができない場合は、ぬるま湯をかけて氷を溶かしてください。熱湯は使用しないでください。

使用方法

リモコンスイッチの操作方法

●上昇するとき

『あがる』のボタンを押します。

●下降するとき

『さがる』のボタンを押します。



ボタンを押しているときのみ上昇または下降し、手を離すとその位置で止まります。ボタンを押し続けているとあらかじめ設定した高さ、または最低位で自動的に止まります。

リモコンスイッチは磁石が付いていますので、金属部分であればお好きな位置に固定して使用できます。このとき、リモコンスイッチが確実に固定されていることを確認してから手を離してください。

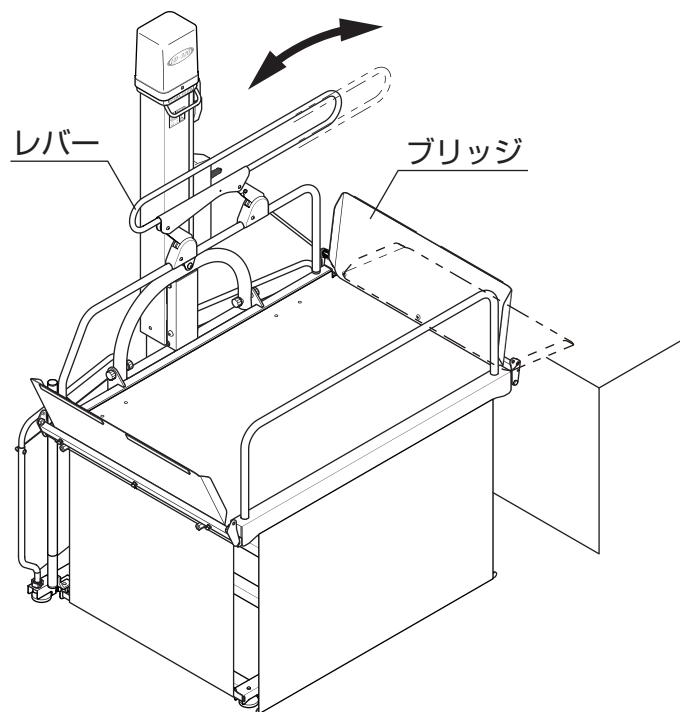
⚠ 注意

!	リモコンスイッチを操作するときは、必ずブリッジが確実に立っていることを確認してください。下げたままでは動作しません。また、ブリッジにご利用者の足や車椅子が当たらないようにしてください。
🚫	リモコンスイッチのカールコードは無理な折り曲げや引っ張り、挟み込みがないようにしてください。特にカールコードを伸ばす場合、リモコンスイッチ根元部の急激な折り曲げはしないでください。故障の原因となります。

使用方法

レバーの操作方法

レバーでブリッジを操作します。



△ 注意



レバーの操作はブリッジが窓などに当たらないか確認しながら行ってください。
急な操作は騒音や破損の原因となります。

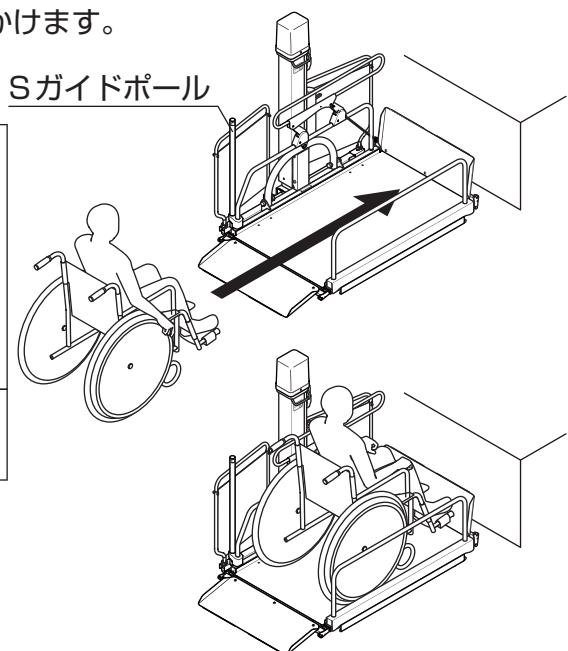
使用方法

上昇するとき（直進乗り込みタイプ）

- ①テーブルが最低位になつていればスロープは下がつてゐますので、そのまま乗ります。
- ②テーブルの奥まで乗り込み、車椅子のブレーキをかけます。

⚠ 注意

	車椅子の4輪がすべてスロープの上を通るよう気をつけてゆっくりと乗り込んでください。また、昇降中に車椅子のブレーキをかけていないと不安定になり、とても危険です。必ずブレーキをかけてください。
	乗り込み時にはSガイドポールを持たないでください。



- ③電源を入れ、上昇させます。

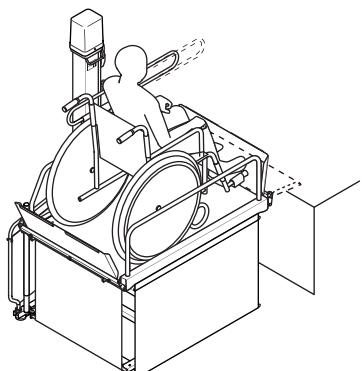
⚠ 警告

	スロープに車椅子や人が乗つた状態で上昇しないでください。転倒や本製品の破損の原因となります。
	上昇中は、スロープ・ブリッジに車椅子や身体が接触しないようにしてください。

- ④テーブルが設定した高さにくると自動的に止まります。

- ⑤電源を切ります。

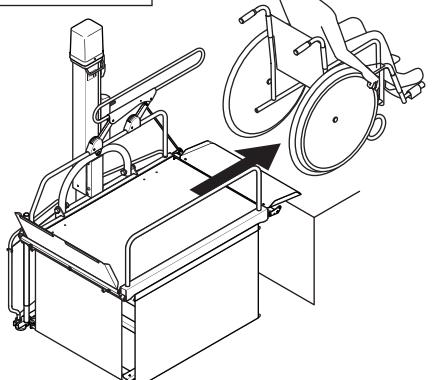
- ⑥レバーを操作し、ブリッジを倒します。



⚠ 警告

	完全に止まるまで車椅子のブレーキをかけたまま、待つてください。
	ブリッジが段差の上に載つてゐることを確認してください。

- ⑦車椅子のブレーキを解除し、降ります。



使用方法

下降するとき（直進乗り込みタイプ）

- ①ブリッジが立っているときは、レバーを操作し、ブリッジを倒します。
- ②テーブルの奥まで乗り込み、車椅子のブレーキをかけます。

⚠ 注意

	車椅子の4輪がすべてブリッジの上を通るように気をつけてゆっくりと乗り込んでください。また、昇降中に車椅子のブレーキをかけていないと不安定になり、とても危険です。必ずブレーキをかけてください。
---	---

- ③レバーを操作し、ブリッジを立てます。
- ④電源を入れ、下降させます。

⚠ 警告

	下降中は、スロープ・ブリッジに車椅子や身体が接触しないようにしてください。
---	---------------------------------------

- ⑤テーブルが最低位にくると自動的に止まります。
- ⑥電源を切ります。

⚠ 警告

	テーブルが最低位に近づくと徐々にスロープが下がります。 完全に止まるまで車椅子のブレーキをかけたまま、待ってください。
	スロープが地面に降りていることを確認してください。

- ⑦車椅子のブレーキを解除し、降ります。

⚠ 注意

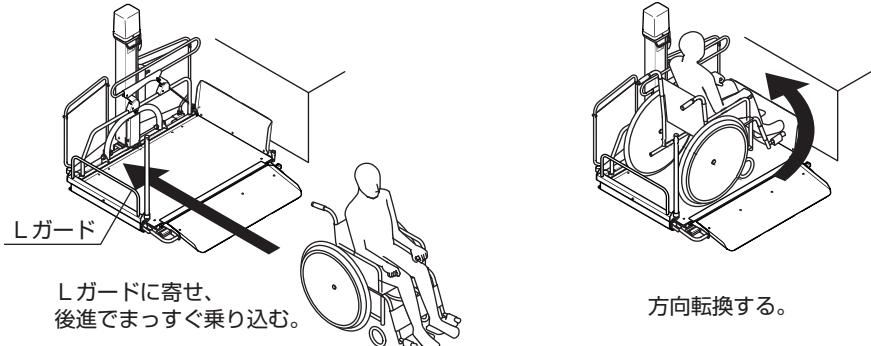
	降りる時にはSガイドポールを持たないでください。
---	--------------------------

使用方法

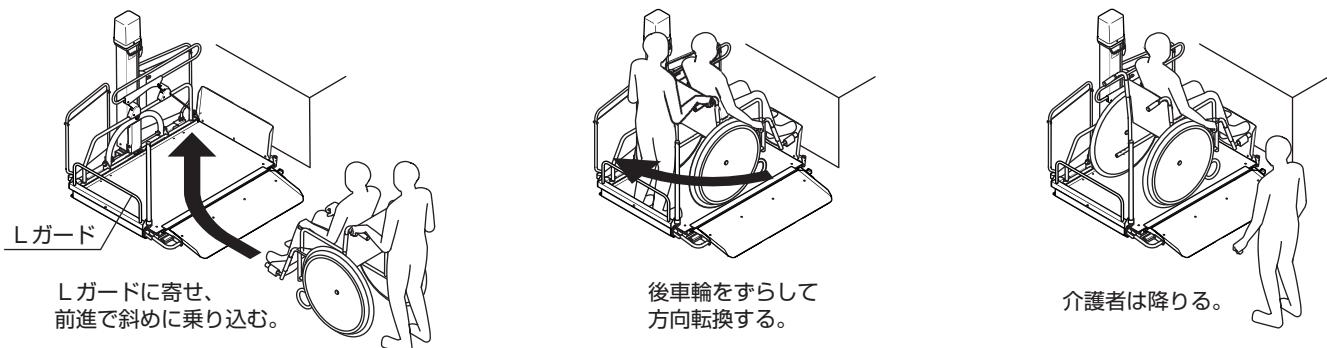
上昇するとき (L字乗り込みタイプ)

- ①テーブルが最低位になつていればLスロープは下がつていますので、そのまま乗ります。
- ②テーブルの奥まで乗り込み、車椅子のブレーキをかけます。

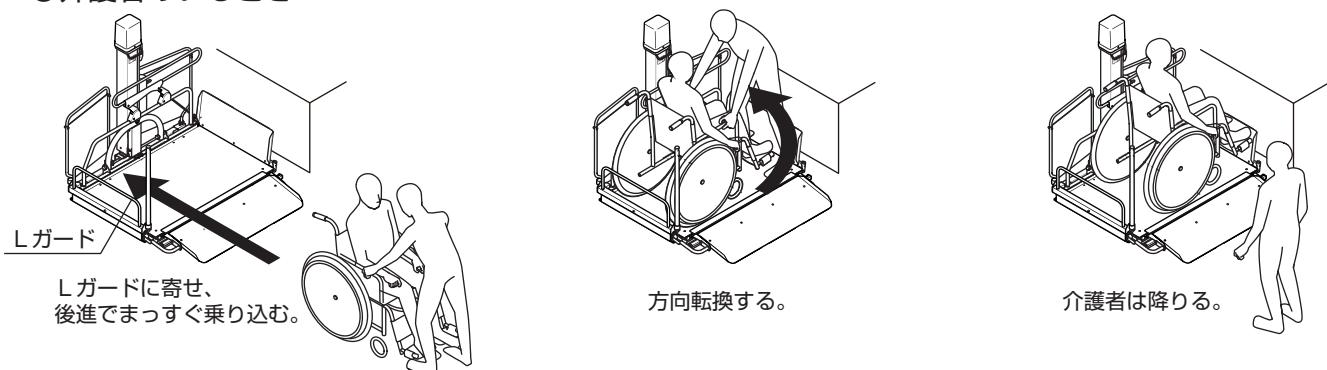
●介護者のいないとき



●介護者のいるとき I



●介護者のいるとき II



⚠ 注意

	車椅子の4輪がすべてスロープの上を通るように気をつけてゆっくりと乗り込んでください。また、昇降中に車椅子のブレーキをかけていないと不安定になり、とても危険です。必ずブレーキをかけてください。
	乗り込みガイド(黄)から車椅子が出た状態で昇降しないでください。本体や車椅子の破損の原因となります。
	乗り込み時にはLガイドポールを持たないでください。また、車椅子がLガイドポールに接触しないように注意してください。

使用方法

③電源を入れ、上昇させます。

⚠ 警告

	スロープに車椅子や人が乗った状態で上昇しないでください。転倒や本製品の破損の原因となります。
	上昇中は、スロープ・ブリッジに車椅子や身体が接触しないようにしてください。

④テーブルが設定した高さになると自動的に止まります。

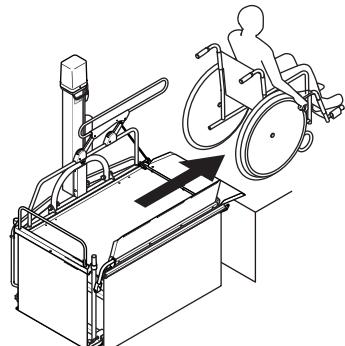
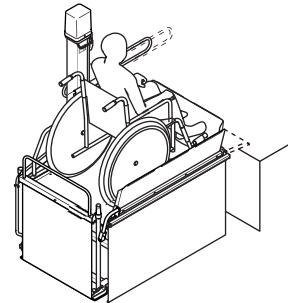
⑤電源を切ります。

⑥レバーを操作し、ブリッジを倒します。

⚠ 警告

	完全に止まるまで車椅子のブレーキをかけたまま待ってください。
	ブリッジが段差の上に載っていることを確認してください。

⑦車椅子のブレーキを解除し、降ります。



使用方法

下降するとき (L字乗り込みタイプ)

- ①ブリッジが立っているときは、レバーを操作し、ブリッジを倒します。
- ②テーブルの奥まで乗り込み、車椅子のブレーキをかけます。

⚠ 注意

	車椅子の4輪がすべてブリッジの上を通るように気をつけてゆっくりと乗り込んでください。また、昇降中に車椅子のブレーキをかけていないと不安定になり、とても危険です。必ずブレーキをかけてください。
---	---

- ③レバーを操作し、ブリッジを立てます。
- ④電源を入れ、下降させます。

⚠ 警告

	下降中は、スロープ・ブリッジに車椅子や身体が接触しないようにしてください。
---	---------------------------------------

- ⑤テーブルが最低位にくると自動的に止まります。
- ⑥電源を切ります。

⚠ 警告

	テーブルが最低位に近づくと徐々にスロープが下がります。 完全に止まるまで車椅子のブレーキをかけたまま、待ってください。
	スロープが地面に降りていることを確認してください。

- ⑦車椅子のブレーキを解除し、降ります。

⚠ 注意

	降りる時にはLガイドポールを持たないでください。また、車椅子がLガイドポールに接触しないように注意してください。
---	--

使用方法

非常降下スイッチの操作方法

本製品には、停電やスイッチ・回路の故障などにより、装置が動かなくなった場合の緊急対処方法として、「非常降下スイッチ」を備えています。

降下させるには、テーブル上に60kg程度の荷重が必要です。テーブルに荷重がかかってないときは降下しません。

このスイッチは、降下のみです。上昇することはできません。

△ 注意



通常の使用時は必ずキャップをつけて使用してください。

キャップを外して使用を続けた場合、故障の原因となります。

○ 禁止



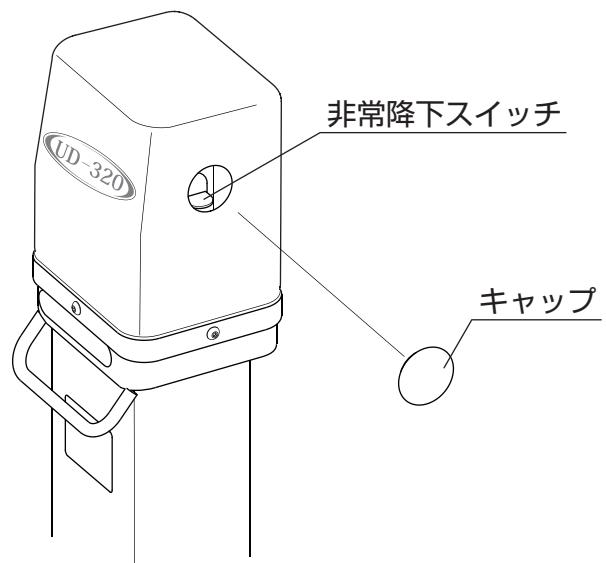
停電や故障などの非常時以外は絶対にご使用にならないでください。

故障の原因となります。

●操作方法

①キャップを外します。

②非常降下スイッチを下に押すと降下します。



注意



ゆっくり降下すると最低位まで下がらず、スロープが水平で止まる場合があります。多少スピードをつけて降下してください。

△ 警告



非常降下スイッチは押し続けるとスピードがつきすぎて危険です。断続的に押してスピードを調整し、降下させてください。

非常降下スイッチを操作した場合は点検が必要となります。点検の結果により修理が必要となる場合がありますので必ず、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。点検を受けずに故障した場合は保証の対象外になる可能性があります。

日常のお手入れ

お手入れされる時は使用前点検（本書13ページ参照）も行っていただくと、トラブルを未然に防ぐこともでき、より安全にご使用いただけます。

お手入れ方法

本製品が汚れたときには、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固く絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いた布で乾拭きしてください。

⚠ 注意

	お手入れをするときは、電源プラグを抜いてください。
	濡れた手で電源プラグを抜かないでください。
	お手入れの際はアルカリ性、酸性の薬品、溶剤類、オゾン、酸化ヒ素など、本製品を劣化させてしまう恐れのあるものは使用しないでください。

消耗品の交換時期

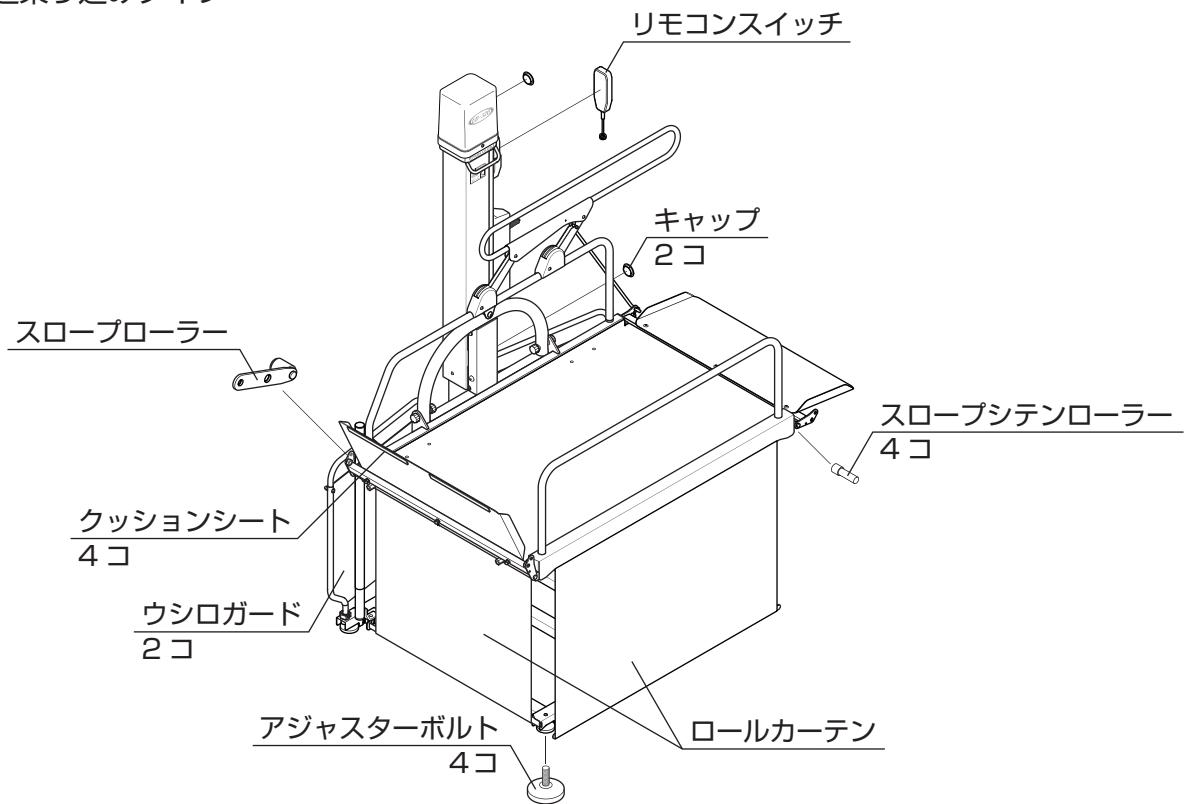
消耗品（本書25ページ参照）が交換時期になっていないかご確認ください。

交換時期に該当するものは、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

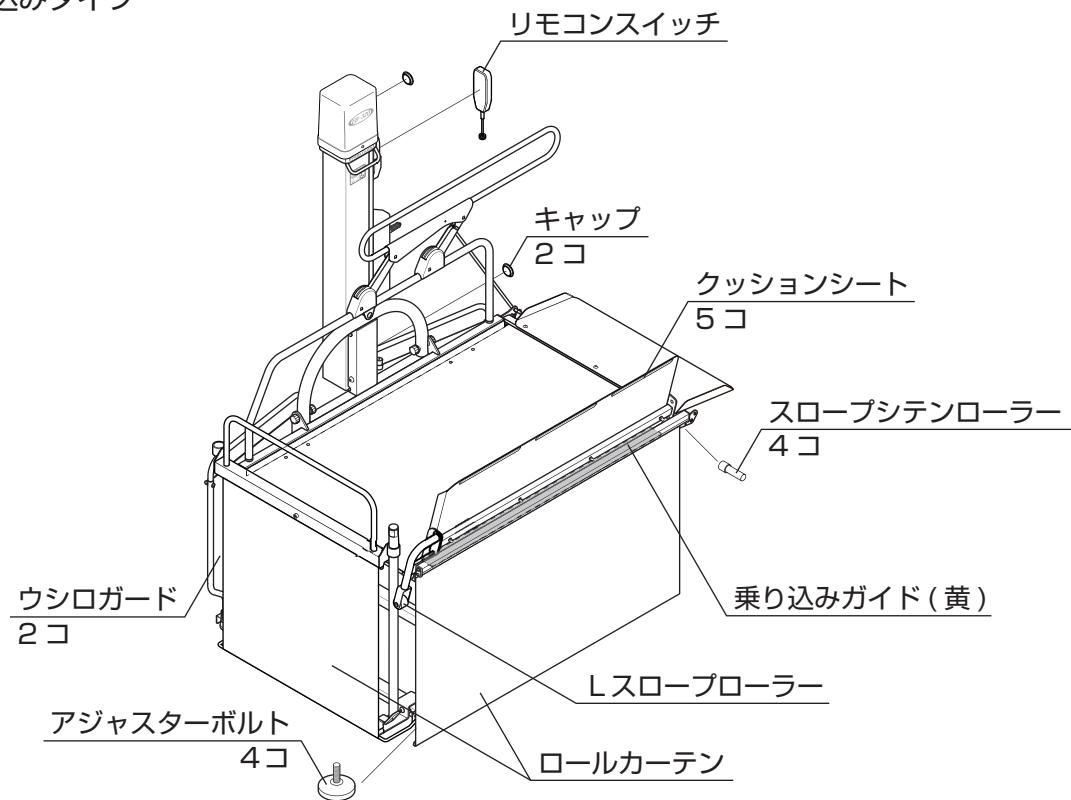
消耗品	交換時期	⚠ 注意
ライナー、ローラー、 ドライブッシュ ※本体内部部品	摩耗、劣化、破損したとき。	異音の発生、昇降時に動きが悪くなるなどの故障の原因になります。
キャップ	劣化、破損したとき。	雨水などの浸入により、本体の故障の原因になります。
リモコンスイッチ	昇降操作ができなくなったとき。	
ロールカーテン	ほつれや破れが発生したとき。	テーブル下面への異物の進入や挟み込みにより本体の故障、ケガの原因になります。
ロールスプリング ※本体内部部品	ロールカーテンが巻き取れないとき。	テーブル下面への異物の進入や挟み込みにより本体の故障、ケガの原因になります。
スロープローラー	摩耗、劣化したとき。	昇降時にスロープを安全な高さで保持できなくなり、転落やケガの原因になります。
ウシロガード	メッシュー地にほつれや破れが発生したとき。	テーブル下面への異物の進入や挟み込みにより本体の故障、ケガの原因になります。
スロープシテンローラー	劣化、摩耗したとき。	
クッションシート	劣化、摩耗したとき。	
アジャスター ボルト	劣化、摩耗したとき。	
乗り込みガイド（黄） ※L字乗り込みタイプのみ	劣化、摩耗したとき。接着面がはがれてきたとき。	

消耗品の名称

●直進乗り込みタイプ



●L字乗り込みタイプ



トラブルシューティング

下記以外のトラブル・原因の場合、また、下記の対処では解決しなかった場合は、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。トラブル解決までは、絶対に使用しないでください。

トラブル内容	主な原因	対処方法
上昇・下降しない。	電源プラグがコンセント に入っていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。
	設定した高さまたは最低位になっている。	逆のボタンを押してください。
	ブリッジが倒れている。	ブリッジを立ててください。
設定した高さで自動的に止まらない。	上昇高さの設定が不適当。	ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
最低位で自動的に止まらない。		
ブリッジが届かない。	設置場所が悪い。	
本体がガタつく。	設置場所が不安定。	
	アジャスター ボルトの調整不足。	
	本体内部部品の摩耗、劣化、破損。	

ご使用期間とアフターサービスについて

ご使用期間について

本製品は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の
※注¹標準使用期間を10年と定めています。この期間を超えて使用されると、機能部品はもとより
主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が10年を超えた製品に
ついては、弊社同等製品への買い替えをお勧めいたしますが、引き続いての使用をご希望される
場合は、必ず弊社各営業所にご連絡のうえオーバーホールを受けてから使用してください。
詳細につきましては弊社各営業所までお問い合わせください。

注1：標準使用期間と保証書に記された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注2：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

注3：お客様の強いご希望で、使用期間終了後オーバーホールを受けずに本製品を使用される
場合は、本製品を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社は
その責任を負いません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みになり、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合、
ご購入先または記載の弊社各営業所までご連絡ください。

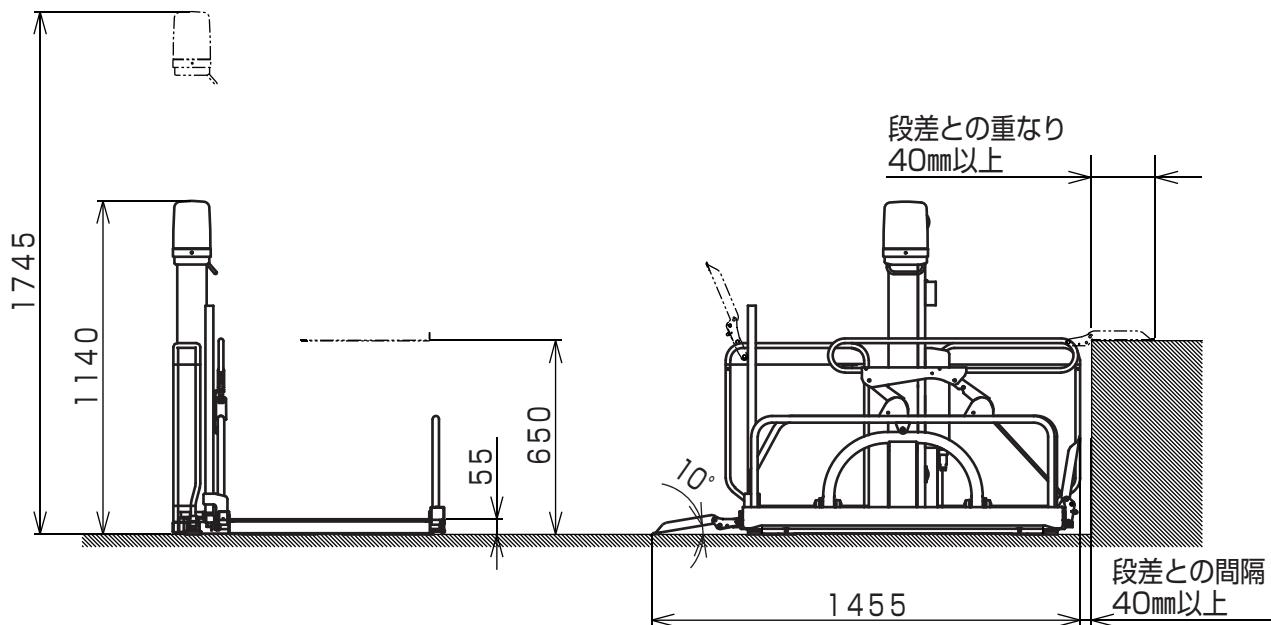
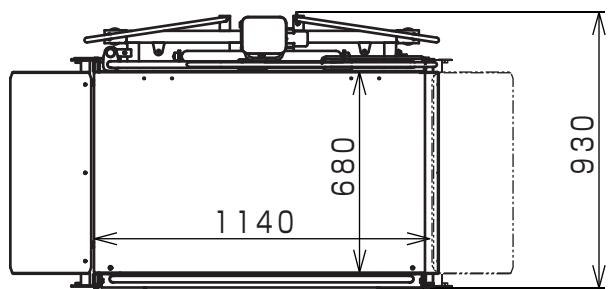
ご連絡いただきたい内容

ご住所・ご氏名・電話番号

商品名・型番・製造番号・ご購入先・お買い上げ日

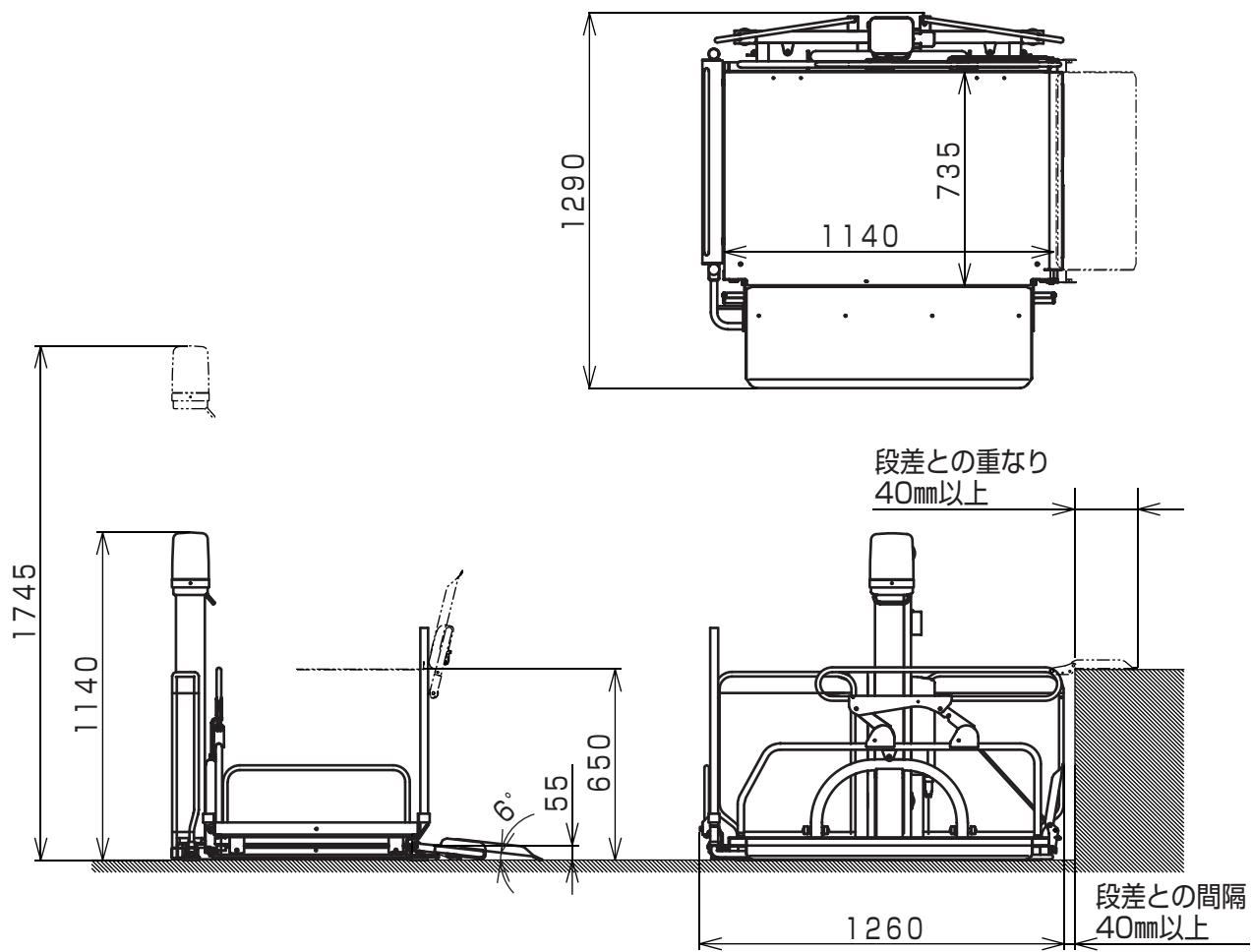
故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願ひいたします。）

仕様 (直進乗り込みタイプ)



全長 (スロープを下げる状態)	1455 mm
全幅	930 mm
全高	1140~1745 mm
昇降範囲	55~650 mm
昇降時間	50Hz=52秒 / 60Hz=43秒
スロープ角度	10°
テーブル内寸	680×1140 mm
重量	75 kg
耐荷重	150 kg
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	100W
介護者同乗	不可

仕様 (L字乗り込みタイプ)



全長 (ブリッジを立てた状態)	1260mm
全幅 (スロープを下げた状態)	1290mm
全高	1140~1745mm
昇降範囲	55~650mm
昇降時間	50Hz=52秒 / 60Hz=43秒
スロープ角度	6°
テーブル内寸	735×1140mm
重量	79kg
耐荷重	150kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	100W
介護者同乗	不可

保証書

商品名 車椅子用電動昇降機

型番 UD-320

本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。保証期間は、お買上げ後1ヵ年です。

〈無償修理規定〉

1. 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、キャスター・タイヤの摩耗やパンク、シートの破れなど、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
 2. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - (1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買上げ後の落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、異常電圧による故障および損傷
 - (4) 取扱説明書内に記載された使用目的以外に使用された場合の故障および損傷
 3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 4. 本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。
- ※ 弊社は、弊社または販売店から直接、本製品をご購入いただいた第1次ご購入者であるお客様に対してのみ、この保証書に基づく責任を負うものとします。第1次ご購入者様からの転売などにより本製品を保有されるお客様に対しては、この保証書に基づく責任を含め、一切の責任を負いません。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問合せください。
- ※ 保証期間終了後の修理については、取扱説明書内“ご使用期間とアフターサービスについて”をご覧ください。

製造元：  株式会社イウラ

本社・松山営業所：〒791-0214 愛媛県東温市南野田410番地6
TEL 089 (964) 7770 FAX 089 (964) 1522
URL <https://www.iura.co.jp>

※以下の項目は必ずご記入ください。

お客様	販売店
ご住所	-
お電話	- -
お名前	様
お買上げ年月日	年 月 日

株式会社IURA

本社・松山営業所 〒791-0214 愛媛県東温市南野田 410 番地 6
TEL089(964)7770 FAX089(964)1522

東京支店 〒174-0063 東京都板橋区前野町 2 丁目 30-24
TEL03(5939)8611 FAX03(5939)8612

札幌営業所 〒007-0834 北海道札幌市東区北 34 条東 26 丁目 2-18
TEL011(788)5334 FAX011(788)5341

仙台営業所 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町 7 丁目 1-18
TEL022(781)6715 FAX022(781)6796

北関東営業所 〒371-0801 群馬県前橋市文京町 4 丁目 20-17
TEL027(212)2066 FAX027(212)2067

名古屋営業所 〒485-0012 愛知県小牧市小牧原新田 1660-3-D
TEL0568(42)6015 FAX0568(71)9656

大阪営業所 〒564-0002 大阪府吹田市岸部中 4 丁目 8-30
TEL06(4860)6601 FAX06(4860)6602

福岡営業所 〒839-0841 福岡県久留米市御井旗崎 4 丁目 4-42
TEL0942(45)3808 FAX0942(45)3809

URL <https://www.iura.co.jp>